

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業442社を対象に実施し、411社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成18年10月～12月の実績、平成19年1月～3月の見込み、平成19年4月～6月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成19年1月下旬

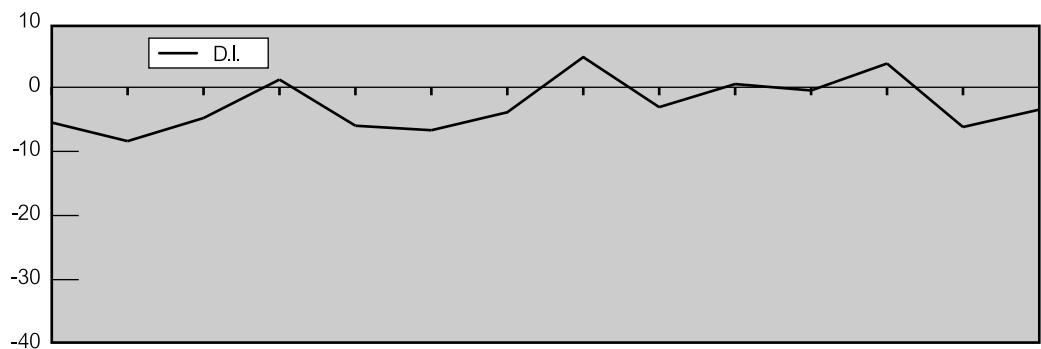
	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製造業	207	198	95.7%
非製造業	235	213	90.6%
計	442	411	93.0%

日銀が1月18日に公表した金融経済月報（基本的見解2007年1月）によると、現状の景気判断について、「わが国の景気は、穏やかに拡大している」とし、先行きについては「先行きについても、景気は穏やかな拡大を続けるとみられる。」としている。すなわち、「輸出は、海外経済の拡大を背景に、増加を続けていくとみられる。また、国内民間需要も、高水準の企業収益や雇用者所得の緩やかな増加を背景に、引き続き増加していく可能性が高い。こうした内外需要の増加を反映して、生産も増加基調をたどるとみられる。この間、公共投資は減少基調を続けると考えられる。」と、景気は穏やかな拡大を続けるとしている。

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業） (%) 見込 予測

期別 種別	16年				17年				18年				19年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
良い	19.8	13.2	18.9	21.8	19.7	17.7	17.7	22.2	19.1	19.7	18.3	20.9	14.4	11.4
普通	54.9	65.3	57.4	57.6	54.6	57.9	60.7	60.3	58.7	61.3	62.9	61.8	65.0	73.8
悪い	25.3	21.5	23.7	20.6	25.7	24.4	21.6	17.5	22.2	19.1	18.8	17.2	20.6	14.9
D.I.	-5.5	-8.4	-4.8	1.2	-6.0	-6.7	-3.9	4.7	-3.1	0.5	-0.5	3.7	-6.2	-3.5

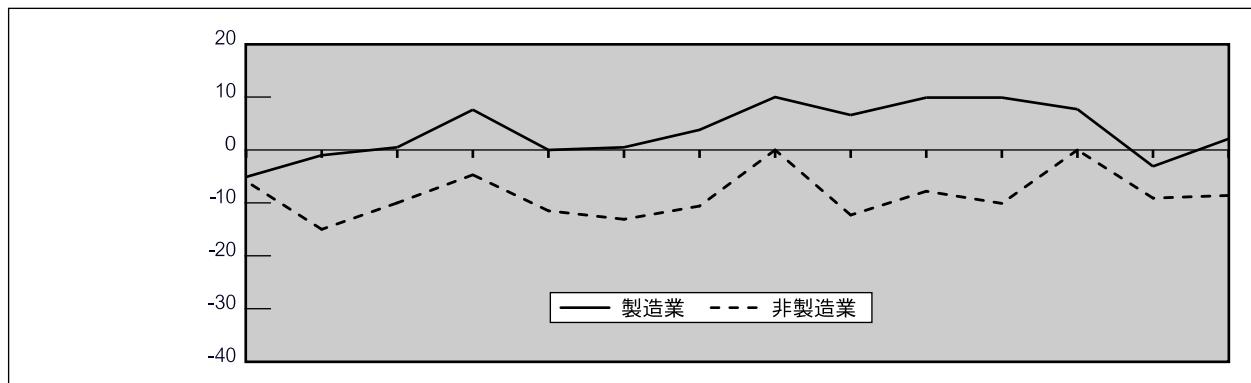


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別	16年				17年				18年				19年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
良　い	20.2	15.7	19.8	25.4	22.6	22.3	21.5	25.3	23.9	25.7	24.5	22.4	13.9	12.8
普　通	54.5	67.7	60.9	56.9	54.9	56.0	60.8	59.5	58.9	58.6	60.9	62.8	69.1	76.4
悪　い	25.3	16.7	19.3	17.8	22.6	21.8	17.7	15.3	17.3	15.7	14.6	14.8	17.0	10.8
D.I.	-5.1	-1.0	0.5	7.6	0.0	0.5	3.8	10.0	6.6	9.9	9.9	7.7	-3.1	2.1

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別	16年				17年				18年				19年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
良　い	19.5	10.9	18.0	18.5	17.1	13.6	14.4	19.4	14.6	14.3	12.6	19.5	14.8	10.0
普　通	55.2	63.2	54.0	58.3	54.4	59.6	60.6	61.1	58.5	63.6	64.7	61.0	61.2	71.3
悪　い	25.3	25.9	28.0	23.2	28.6	26.8	25.0	19.4	26.9	22.1	22.7	19.5	23.9	18.7
D.I.	-5.9	-15.0	-10.0	-4.7	-11.5	-13.1	-10.6	0.0	-12.3	-7.8	-10.1	0.0	-9.1	-8.6



(1) こうした全国の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見てみると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」は、18年10-12月期実績は3.7と前期比4.2ポイント改善した。先行きについて19年1-3月期のD.I.は、前期比9.9ポイント悪化する見込みとなっている。（季節調整は行っていない）。

(2) 業況判断指数D.I.の18年10-12月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は7.7と引き続きプラスとなった。非製造業は前期比10.1ポイント改善し0.0となった。先行きについて19年1-3月期のD.I.は、製造業・非製造業ともにマイナスに転じる見込みとなっている。

製造業の業況判断指数D.I.先行きについて、19年1-3月期見込は▲3.1と2年9ヶ月ぶりにマイナスとなる調査結果となった。19年4-6月期予測はプラスに転じ、2.1としておりマイナスの期間は限定的と予測している。

一方、非製造業の業況判断指数D.I.先行きについては、19年1-3月期以降再びマイナスに転じると見込んでいる。